

第 20 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム

SSC Symposium 2026

日 程 2026 年 2 月 14 日 (土) 9:15 ~ 15:55

※ 8:45 より受付を開始いたします。

会 場 野村コンファレンスプラザ日本橋

(東京都中央区日本橋室町 2-4-3 日本橋室町野村ビル (YUITO) 6F)

東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅 A9 出口直結 徒歩 1 分)

<http://www.nomura-nihonbashi.com/conference/>

※ 参加には事前参加登録が必要です。

参加登録期間：2025 年 12 月 17 日 (水) 正午 ~ 2026 年 3 月 16 日 (月)

詳細は学会ホームページ <https://www.jsth.org/ssc-symposium/> をご確認ください。

※ 教育講演はオンデマンド配信のみ

2026 年 2 月 16 日 (月) ~ 3 月 16 日 (月)

※ その他のプログラムはオンラインサイト開催のみ

世話人 奥 健志 (東海大学医学部 内科学系リウマチ内科学)

参加費 会 員 : 3,000 円

非会員 : 6,600 円

非会員 (コメディカル) : 4,400 円

大学院学生・初期研修医 : 1,000 円

大学生 : 無料

※ 学生証 / 初期研修医の証明書を提出

※ 参加費は抄録代を含む

プログラム

教育講演 (オンデマンド配信のみ)

1. 領域：止血機能検査

血栓の形成と溶解に関わる臨床検査の指標—血液凝固と線溶反応を捉える分子マーカーを活用するために

演者：窓岩 清治 (東京都済生会中央病院 臨床検査医学科)

2. 領域：血小板

生体における血小板機能の評価

演者：西川 真子 (東京大学医学部附属病院 検査部)

3. 領域：凝固・線溶系出血疾患

血友病の遺伝子治療

演者：大森 司 (自治医科大学医学部 生化学講座 病態生化学部門)

4. 領域：凝固・線溶系血栓性疾患
がん患者における周術期 VTE 予防と VTE 治療
演者：池田 正孝（兵庫医科大学 消化器外科学講座 下部消化管外科）
5. 領域：DIC/TMA
進化する TTP と aHUS の診療
演者：宮川 義隆（埼玉医科大学病院 血液内科）

学術標準化委員会シンポジウム

1. 凝固線溶検査部会（10:10～11:10）

- テーマ：APTT の試薬間差への対応を考える！
座長：伊藤 隆史（熊本大学大学院生命科学研究部 血液免疫病態解析学講座）
熊野 積（産業技術総合研究所 健康医工学研究部門）
1. 多様なサンプルを用いた APTT サーベイ
松田 将門¹⁾, 伊藤 隆史²⁾, 橋口 照人³⁾, 凝固線溶検査部会 APTT-working group⁽¹⁾ 福島県立医科大学保健科学部 臨床検査学科, ²⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部 血液免疫病態解析学講座, ³⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野)
 2. 凝固検査（APTT, PT）による DOAC 過量投与の判定に関する多機関共同研究
—DOAC 添加血漿を用いた検討
山崎 昌子¹⁾, 熊野 積²⁾, 凝固線溶検査部会 DOAC-working group⁽¹⁾ 千葉大学大学院医学研究院 人工知能（AI）医学, ²⁾ 産業技術総合研究所 健康医工学研究部門)
 3. 抗 Xa 活性からみた各 DOAC の PT/APTT への影響：DOAC 添加血漿を用いた検討
早川 峰司¹⁾, 熊野 積²⁾, 藤井 聰³⁾, 山崎 昌子⁴⁾ (¹⁾ 市立札幌病院 総合臨床センター, ²⁾ 産業技術総合研究所 健康医工学研究部門, ³⁾ 北海道大学病院 検査・輸血部, ⁴⁾ 千葉大学大学院医学研究院 人工知能（AI）医学)

2. 血栓溶解部会・DIC 部会（10:10～11:10）

- テーマ：DIC における線溶反応の再考察
座長：田村 利尚（産業医科大学第1外科学）
内場 光浩（熊本大学病院 輸血・細胞治療部）

1. 共同開催の目的と背景—DIC における線溶反応—
内場 光浩（熊本大学病院 輸血・細胞治療部）
2. トロンボモジュリンアルファの投与と病態時の線溶機能の理解
鈴木 優子（浜松医科大学 医生理学講座）
3. 慢性 DIC の病態解明と適切な治療法開発：XIII 因子と DOAC に着目して
中山 享之（愛知医科大学 輸血・中央臨床検査部）
4. 総合討論（今後の方針など）

3. 血友病部会（10:10～12:20）

- テーマ：新しい血友病ガイドラインと血友病治療の新時代
座長：松本 剛史（埼玉医科大学総合医療センター 輸血部）
酒井 道生（北九州安部山公園病院 内科）

1. 先天性血友病診療ガイドライン改訂について
徳川 多津子（兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学）
 2. 後天性血友病 A ガイドライン改訂の進捗状況
武山 雅博（大阪医療センター 血友病科）
 3. エビデンスに基づいた血友病の関節リハビリテーションについて考える
—EAHAD の血友病患者の理学療法に関する診療ガイドライン—
大野久美子（東京大学医学部附属病院 整形外科）
 4. 新時代の出血予防治療について考える
—リバランス療法の実臨床と今後の展開—
松下 正（名古屋大学医学部附属病院 輸血部）
 5. 総合討論
4. 血栓溶解部会（11:20～12:20）
- テーマ：線溶検査と血栓溶解療法の現状と課題
- 座長：窓岩 清治（東京都済生会中央病院 臨床検査医学科）
内場 光浩（熊本大学病院 輸血・細胞治療部）
1. 標準化を見据えた線溶時間検査の現状と課題
藤森 祐多¹⁾, 涌井 昌俊¹⁾, 窓岩 清治^{1,2)} (¹⁾慶應義塾大学医学部 臨床検査医学教室, ²⁾ 東京都済生会中央病院 臨床検査医学科)
 2. 凝固線溶波形解析～スクリーニング検査への応用を目指して～
松本 智子（天理大学医療学部 臨床検査学科）
 3. 脳梗塞血栓溶解療法最新の話題
井上 学¹⁾, 長尾 穀彦²⁾ (¹⁾ 国立循環器病研究センター 脳血管内科, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経内科）
5. 血小板部会（11:20～12:20）
- テーマ：先天性血小板機能異常症の診療向上にむけた取り組み
- 座長：加藤 恒（大阪大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部）
羽藤 高明（愛媛県赤十字血液センター）
1. 先天性血小板機能異常症診断基準について
柏木 浩和（大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科, 大阪府赤十字血液センター）
 2. 血小板機能と出血症状評価の課題
金子 誠（三井記念病院 臨床検査部）
 3. 血小板機能異常症の止血管理
加藤 恒（大阪大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部）
6. 血栓性素因部会（13:30～15:00）
- テーマ：遺伝性血栓性素因患者の適正な診断ならびに診療を目指して
- 座長：森下英理子（金沢大学医薬保健研究域 病態検査学）
荻原 義人（三重大学 三重県移行期医療学講座）
1. 「遺伝性血栓性素因患者の妊娠分娩管理に関する診療の手引き Q&A」2025 年改訂版について
 - a. 総論
森下英理子（金沢大学医薬保健研究域 病態検査学）

- b. 遺伝子 AT 欠乏症妊婦の管理
森川 守（関西医科大学 産婦人科）
 - c. 遺伝性 PC 欠乏症妊婦の管理
川崎 薫（近畿大学 産婦人科）
 - d. 遺伝性プロテイン S 欠乏症妊婦の管理
根木 玲子（国立循環器病研究センター ゲノム医療支援部遺伝相談室）
2. プロテイン C 活性の標準化および健常成人の基準値設定
内藤 澄悦（北海道医療大学病院 臨床検査部）
 3. 小児における凝固制御因子活性の基準値設定一中間報告
荻原 建一, 野上 恵嗣（奈良県立医科大学 小児科）
 4. 血栓性素因部会が今後取り組むべき課題
家子 正裕¹⁾, 森下英理子²⁾ (¹⁾ 札幌保健医療大学 保健医療学部 看護学科, ²⁾ 金沢大学医薬保健研究域 病態検査学)

7. VWD/TMA 部会 (13:30～15:00)

テーマ：Von Willebrand 病の現状と課題の解決を目指して
座長：小亀 浩市（国立循環器病研究センター 分子病態部）
酒井 和哉（奈良県立医科大学 輸血部）

Opening Remarks

酒井 和哉（奈良県立医科大学 輸血部）
Part 1. 活動の現状報告：ワーキンググループの立ち上げを目指して

1. VWD の啓発活動：進捗と今後の展開
長尾 梓（関西医科大学 血液腫瘍科）
2. デスマプレッシン点鼻薬の導入を目指して：進捗と今後の展開
長尾 梓（関西医科大学 血液腫瘍科）

Part 2. VWD 診断ガイドラインの検討課題：臨床現場からの要望

1. 低 VWF 血症の取扱い（診断基準とのギャップ）
荻原 建一（奈良県立医科大学 小児科）
2. VWF 関連検査
 - 1. VWD における遺伝子解析の現状と課題
稻葉 浩¹⁾, 小亀 浩市²⁾ (¹⁾ 東京医科大学 臨床検査科, ²⁾ 国立循環器病研究センター 分子病態部)
 - 2. VWF の機能解析手法について：国内保険未収載のものを中心に
酒井 和哉（奈良県立医科大学 輸血部）

Closing Remarks

小亀 浩市（国立循環器病研究センター 分子病態部）

8. 抗リン脂質抗体部会 (13:30～15:00)

テーマ：抗リン脂質検査の手引きと検査・診療の標準化

1. 凝固グループ：LA 検査標準化への挑戦：前提処理条件からハーモナイゼーション、抗凝固薬の影響まで
座長：内藤 澄悦（北海道医療大学 歯科クリニック 臨床検査部）
演者：徳永 尚樹¹⁾, 内藤 澄悦²⁾, 下村 大樹³⁾, 結城 智嗣⁴⁾, 叶内 和範⁴⁾, 山崎 哲⁵⁾, 久田 諒⁶⁾, 藤枝雄一郎⁷⁾, 家子 正裕⁸⁾ (¹⁾ 社会医療法人川島会 川島病院 診療技術部 検体検査技術科,

²⁾ 北海道医療大学病院 臨床検査部, ³⁾ 天理よろづ相談所病院 臨床検査部, ⁴⁾ 山形大学医学部附属病院 検査部, ⁵⁾ 聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査技術部, ⁶⁾ 北海道大学病院 リウマチ・腎臓内科, ⁷⁾ 慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科, ⁸⁾ 札幌保健医療大学 保健医療学部看護学科)

2. SPA グループ：SPA 検査標準化への挑戦；ELISA と自動化アッセイのハーモナイゼーション

座長：山崎 哲（聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査技術部）

演者：本木由香里（山口大学大学院医学系研究科 保健学専攻）

3. 臨床グループ：抗リン脂質抗体症候群：診断・リスク評価の標準化への挑戦

座長：野島 順三（山口大学大学院医学系研究科 保健学専攻）

演者：藤枝雄一郎¹⁾, 久田 謙²⁾, 渥美達也²⁾ (¹⁾ 慶應義塾大学医学部 リウマチ膠原病内科, ²⁾ 北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室)

4. 総合討論

座長：渥美 達也（北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室）

奥 健志（東海大学医学部 内科学系リウマチ内科学）

共催セミナー

モーニングセミナー（9:15～10:00）

1. 慢性 ITP の治療戦略—Syk 阻害薬タバリス錠をどう使うか—

座長：加藤 恒（大阪大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部）

演者：大崎 浩一（社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 輸血科）

共催：キッセイ薬品工業株式会社

2. 後天性血友病 A 臨床における認知から止血療法まで

座長：徳川多津子（兵庫医科大学病院 血液内科）

演者：関 義信（新潟大学医歯学総合病院／新潟県立がんセンター新潟病院 血液内科）

共催：武田薬品工業株式会社

3. エミシズマブの有効性と課題—エビデンスに基づく考察

座長：藤井 輝久（広島大学病院 輸血部／血友病診療センター）

演者：武山 雅博（大阪医療センター 血友病科）

共催：中外製薬株式会社

ランチョンセミナー（12:35～13:20）

1. 血友病患者の目指すべき今後の姿とその達成のための治療選択

座長：松本 剛史（埼玉医科大学医学部総合医療センター 輸血部（輸血細胞医療部・細胞移植療法部））

演者：藤井 輝久（広島大学病院 輸血部／血友病診療センター）

共催：サノフィ株式会社

2. 血友病の抗凝固・抗血小板療法—循環器医の視点による心血管疾患マネジメント—

座長：天野 景裕（東京医科大学 臨床検査医学分野）

演者：後藤 信哉（東海大学医学部内科学系 循環器内科）

共催：CSL ベーリング株式会社

3. 高齢心房細動患者への DOAC 投与時に凝固マーカー測定の意味はあるか？～医療経済的考察～

座長：福武 勝幸（医療法人財団 萩窓病院 血液凝固科）

演者：鈴木 信也（心臓血管研究所付属病院 循環器内科）

共催：積水メディカル株式会社

4. コンシズマブによる血友病B治療の新展開：Explorer8試験と実臨床2例から学ぶ

座長：関 義信（新潟大学医歯学総合病院／新潟県立がんセンター新潟病院 血液内科）

演者：松野 良介（関西医科大学附属病院 小児科）

共催：ノボノルディスク ファーマ株式会社

スイーツセミナー（15:10～15:55）

1. 血友病治療の新たな選択肢～ヒムペブジの可能性～

座長：木内 英（東京医科大学 臨床検査医学分野）

演者：澤田 曜宏（兵庫医科大学 血液内科）

共催：ファイザー株式会社

2. バイクロット®の今後の展望～後天性血友病において活躍できるのは重症出血時治療だけ？～

座長：鈴木 伸明（名古屋大学医学部附属病院 輸血部）

演者：山崎 尚也（広島大学病院 輸血部）

共催：KMバイオロジクス株式会社／一般社団法人 日本血液製剤機構

3. ITPの病態とバイオマーカーから紐解く Optimal Combination Therapy

座長：山之内 純（愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

演者：大竹 志門（日本大学医学部附属板橋病院 血液・腫瘍内科）

共催：アルジェニクスジャパン株式会社